

## 令和6年度第1回食の安心・安全意見交換会の開催結果について

令和6年7月29日  
農 政 課

食の安心・安全に関する取組に府民の意見を反映させるため、府内の消費者団体を対象に食の安心・安全意見交換会を開催しており、今年度1回目となる意見交換会を開催しました。

- 1 日 時 令和6年7月10日（水）10:00～11:30
- 2 開催方法 Zoom ミーティング
- 3 出席者 消費者団体3団体6名  
京都府（農政課、農産課）5名
- 4 テーマ 環境にやさしい農業の推進について
- 5 概要

### （1）主な内容

- ・ 環境負荷低減に関する取組について
- ・ 京都府の農業改良普及センターの取組について

### （2）主な意見や質疑応答

Q. 京都府みどり認定\*を受けることで、生産者にメリットはあるのか。

A. 京都府みどり認定は独自に販売していく際のPRとして活用できる。また、認定を取得することで、生産者への交付金や農業改良資金の償還の延長、税制面の優遇措置、補助が受けやすくなるといったメリットがある。

\* 京都府みどり認定：①土づくり、化学肥料・化学農薬の使用低減の取組、②温室効果ガスの排出の量の削減に資する事業活動、③別途、農林水産大臣が定める事業活動（水耕栽培における化学肥料・化学農薬の使用低減やプラスチック資材の排出又は流出の抑制等）の環境負荷低減活動に取り組む農林漁業者を認定する制度。

Q. プラスチック資材の排出又は流出の抑制のために、プラスチック資材の回収や生分解性資材への移行を推進する取組はあるのか。

A. プラスチックのコーティング肥料を代替肥料にする取組やマルチシートを生分解性の素材に替えていく取組をこれからより一層進めていきたいと考えており、府では新たな資材に転換する実証試験を支援している。

### （3）アンケート結果

ア アンケート平均点 4. 25点（5点満点）

#### イ 主な意見・感想

- ・ 京都府として、化学肥料や化学農薬を減らす取組の推進など環境負荷低減に力を入れていることが分かりました。
- ・ 有機農業等の取組は、技術や手間、費用が大きいので、生産から流通、販売、消費に至るまで支援や協力が重要だと思います。